白樺学園 猛打で初戦突破

夏の高校野球 北北海道大会

【1回戦・白樺学園―旭川南】白樺学園は初回、1死二塁から佐々木駿の右越えの三塁打で二走の岡田直也が本塁に滑り込み4―0とする

14安打９点、旭南下す

【旭川】第3日は19日、旭川スタルヒン球場で3試合を行った。午前9時からの第1試合（1回戦）は、白樺学園が旭川南の好投手斎藤敬仁（3年）に5本の長打を含む14安打を浴びせ9―5で快勝した。初回からロングリリーフの川越翼（3年）も5安打3失点と強力打戦相手に力投した。白樺学園の北大会初戦突破は、決勝に進出した2008年以来。20日午後2時からの準々決勝で稚内大谷（名寄）と旭川西（旭川）の勝者と戦う。

（岡部彰広、塩原真）

◇1回戦（19日）

白樺学園 511000011 | 9
旭川南 200001011 | 5

白樺学園	打数	安打	三打	四球	死球	振打	振死	①②③④⑤⑥⑦⑧⑨
④ 佐藤	4	0	1	1	1			死球三振一ゴ……中飛……一直……左犠
⑦ 小原	6	4	0	0	0			左安右2投飛……中安……捕安一邪
①8小林	4	2	0	2	1			左安四球……遊安……三振……三振……
③ 岡田	4	1	3	3	1			右2四球……三振……三振……三振……
⑤ 表	4	1	1	0	1			三ゴ中飛……二直……四球……中安……
② 佐々木	5	2	1	2	0			右3……中2三振……中飛……三振……
⑨ 竹田	0	0	1	0	0			中犠……
1 川越	3	2	0	0	1			……中安……死球……ニゴ……左2
⑥ 森谷	3	1	1	0	1			左飛……右安……投犠……投ゴ……四球
⑧9中村	3	1	0	1	0			……遊ゴ投犠……三振……左安……投犠
犠盗併残失								
5 4 0 1 1 2		36	14	8	9	6		

旭川南	打数	安打	三打	四球	死球	振打	振死	①②③④⑤⑥⑦⑧⑨
⑨ 辻本	4	2	2	0	1			右本四球……右飛……遊ゴ……中安
② 西川	5	1	0	1	0			左安右飛……一ゴ……三振右飛
③ 須貝	4	1	0	0	0			右飛……ニゴ……ニゴ……右安……
⑥ 星雄	4	2	0	0	0			左2……遊ゴ……右3……ニゴ……
① 斎藤	4	1	2	0	0			遊ゴ……三失……二飛……遊安……
⑦ 村井	4	0	1	0	0			ニゴ……右飛……遊ゴ……右飛……
⑧ 尾崎	3	1	0	0	1			……中安……右飛……一失……死球
⑤ 高橋	1	0	0	0	0			……一犠……ニゴ……
H 下島	1	0	0	0	0			……三邪……
5 菊谷	0	0	0	0	0			……
H 田村	1	0	0	0	0			……捕ゴ
④ 辻	3	0	0	1	0			……右飛……三振……ニゴ……
H 星慶	1	0	0	0	0			……右飛
犠盗併残失								
1 0 0 6 0		35	8	5	2	2		

	回数	打者	球数	安打	三打	四死	自振	責
小林	⅔	5	15	3	0	0	2	2
川越	8⅓	33	119	5	2	2	3	
斎藤	9	47	165	14	9	6	8	

▽本塁打＝辻本（旭）▽三塁打＝佐々木（白）星雄（旭）▽二塁打＝岡田、小原、佐々木、川越（白）星雄（旭）▽暴投＝川越（白）斎藤（旭）▽捕逸＝西川（旭）▽盗塁＝小原2、小林、表（白）▽けん制死＝尾崎（旭）▽審判＝梅田（旭川龍谷）石垣（留萌千望）佐藤（羽幌）西前（OB）▽試合時間＝2時間40分

白樺学園は初回、佐藤の死球と小原、小林の連続左前打で無死満塁とし、岡田が走者一掃の右越え二塁打を放ち3―0。さらに1死から佐々木の右越え三塁打と竹田の中犠飛で大量5点を奪った。二回には2死無走者から小原の右中間二塁打に小林、暴投で1点を追加。三回も佐々木の中越え二塁打に川越、森谷の連打で1点と着実に加点した。終盤から相手投手が立ち直ったが、表の適時打や佐藤の犠飛などが好機に飛び出し、リードを保ち逃げ切った。

小林は初回に公式戦初被弾するなど3安打で2失点。しかし途中から登板の川越が尻上がりに調子を上げて好投。六回に右越え三塁打と内野ゴロで失点する不運もあったが、連打を許さなかったのが大きかった。

【1回戦・白樺学園―旭川南】初回、1死三塁から竹田寛享の犠飛で生還した佐々木駿（右）は喜びの表情でベンチに戻る

初回集中打 強豪を一蹴

電光石火の初回の猛攻だった。

春季道大会準決勝の再戦は、まるで再現フィルムを見ているかのようだった。同じ8人の打者を送り込んで怒とうの5得点。春同様、じゃんけんに勝って先攻を取った戸出直樹監督は「初回がすべてかなと思った。互いに緊張する初戦の緊張感の中、先に点が取れれば有利になると思っていた」と見事な返り討ちに、してやったりの表情をした。

初回に先頭の佐藤優太（2年）が、足下のスライダーで死球を奪ってから打線に火がついた。小原佑太（3年）、小林航（同）が外角のボールになるスライダーに手を出さず、甘い球を2連打。満塁の好機に主砲の岡田直也（同）が外角高め135キロの速球を軽く振り抜くと、右翼手の頭上を軽々と越えた。「逃げ切ろうと思っていたので、点が取れたらいいなと思っていた。（斎藤は）春よりスライダーがキレていたが、自分たちの調子も良かったから打てた」と胸を張った。

次第に斎藤の内外角への速球、スライダーがいいコースに決まり、三振も多くなった。それでも甘い球を見逃さず、小刻みに加点した。旭川南の小池啓之監督が「5点取られても試合になると思っていたが…」と肩を落としたように、送りバントや犠飛など大技小技で相手の追い上げムードを吹き飛ばしたのが大きかった。

優勝候補を一蹴した。「強豪に勝てたので、次も十勝の代表として戦うとともに、白樺野球をしたい」と戸出監督の言葉に力がこもった。

◇1回戦（18日）

釧路工（釧根） 0100000000 / 1
武修館（釧根） 1040200000 / 7
女満別（北見） 0001000100 / 3
岩見沢東（空知） 0001002000 / 2

かちモバで速報

十勝毎日新聞社は携帯電話サイト「かちモバ」（http://kachimai.mobi/）で、夏の高校野球北北海道大会の十勝支部代表の試合経過とイニングスコアを速報しています。高校野球速報メールに登録すると試合結果をEメールでお知らせします。

また、大会取材に当たる記者のつぶやき「北大会取材なう」を同サイト上で展開しています。

山本幸４連覇

マウンテンバイク全日本選手権

山本和も４位

４連覇を果たし、バイクを持ち上げガッツポーズの山本幸平（大賀静子撮影）

【長野】マウンテンバイクの第24回全日本選手権大会（日本自転車競技連盟主催）が16、17日、長野県諏訪郡富士見町の富士見パノラマリゾートで行われ、最終日の男子クロスカントリー・シニアエリートクラスで山本幸平（チームブリヂストン・アンカー―国際アウトドア専門学院、帯農高出・幕別町出身）が1時間32分32秒70をマークし、4連覇を達成した。山本の兄・和弘（キャノンデール・ファクトリーレーシングチーム……4位で惜しくも表彰台を逃した山本和弘（大賀静子撮影）

―北海道ハイテクノロジー専門学校、帯三条高出）も1時間37分23秒81で4位と健闘した。

【Lプール決勝リーグ・VERANO―日体大ドリームズレディース】第1ピリオド5分、VERANOのFW太田ゆき菜が同点弾を決める

Lプール優勝のVERANO

インラインホッケー

VERANO優勝

全日本Lリーグ戦全勝

インラインホッケーの全日本選手権大会（日本アイスホッケー連盟主催）最終日は18日、帯広の森スポーツセンターでLプール（女子）決勝リーグの最終戦を行い、十勝から出場したVERANOが日体大ドリームズレディース（関東）に10―2で快勝し、リーグ2戦全勝で優勝を果たした。

（高橋宏幸）

終始パック支配 VERANO

○…VERANOは2試合ともにゴールラッシュで危なげなく頂点に立った。清水希主将は「今年は地元だったので絶対に勝つつもりだった。大勝できたので良かった」と笑顔を輝かせた。

チームの平数近くがアイスホッケー女子Aプール・フルタイムシステム御影グレッズのメンバー。日体大ドリームズレディースとの最終戦は、試合開始30秒でカウンターから先制点を許したが、「まだ時間があったので焦らなかった」（清水主将）と落ち着きを失わず、第1ピリオド5分の太田ゆき菜の同点弾を皮切りに次々と得点。終始パックを支配した。

昨年まで「Ninja☆Girls」だったチーム名を、スペイン語で夏を意味する「VERANO」に変更。心機一転したシーズンで全日本制覇を果たし、清水主将は「来シーズンもまた全国へ出て2連覇できるよう頑張りたい」と意欲を高めていた。

ヘプール〈〉リーグ戦

VERANO 10（4―1、5―0、2―1）2 日体大ドリームズレディース（関東）

▽得点者【〉】①太田（1P5分41秒）②阿部〉小野〉村瀬（1P6分19秒）③西〉武田（1P10分45秒）④太田（1P10分59秒）⑤清水（2P2分49秒）⑥西（2P3分2秒）⑦西〉小野（2P8分7秒）⑧清水〉太田（2P8分39秒）⑨太田〉小野（2P10分56秒）⑩円子〉武田（3P5分49秒）【目】①篠山〉池谷（1P30秒）②中田〉池谷（3P9分26秒）▽反則【〉】2（阿部、清水）【目】2（川村、北澤）▽シュート数【〉】50（20、15、15）【目】5（1、3、1）▽審判＝光井、木村

▼順位①VERANO2勝②WEEDS1勝1敗③日体大ドリームズレディース2敗